A 類似団体と比較して多いのは物件費です。大田市とは14億円、安来市とは8億円の差があります。補助金も40億円にのぼり、大田市の2倍、安来市の3倍以上です。近い将来にはこれも調整していかねばなりません。

Q 公共施設の利用料金について、受益者負担は当然のことと思いますが、減免措置などの考え方や今後についてどう考えていますか。

A 公共施設の使用料については、統一を図ります。今年の7月から減免の取り扱いを平準化し、市の施策として利用していただく方、公共的な団体については免除なり二分の一減額をします。

Q 指定管理にしてどれくらいのメリットがありましたか。

A 17年度と18年度を比較して440万円ほど予算を減額することができました。

Q 固定資産税や水道料が3年後どうなりますか。

A 固定資産税率の統一を図ります。最終的に固定資産税率を1・55にすると現段階で461万円程度増収と試算しています。

水道料金については激変緩和措置により1億1千万円の減収となりますが、経営努力により対応します。

Q 税金の滞納対策はどのように行っていますか。

A H18年度は1億円余り回収しました。職員の研修や県職員を受け入れて徴収能力の向上も行っています。H19年度も努力を続けていきます。

Q 市への災害報告は、道路が建設部で農地は産業振興部へ報告するようになっていますが、一緒にすることはできませんか。

A 原則分けていますが、紛らわしい時はどちらかへ報告してもらえば整理します。

広聴・広報

Q 懇談会は地域自主組織に主催させるべきだと思います。この懇談会は、一方的な押し付けの話ばかりです。もっと意見が言える時間を多くしてください。

A おしつけで話をしている訳ではありませんが、説明の仕方については今後改善します。懇談会のありかたは、参考にさせていただきます。

農林水産業

Q 雲南市の農業政策、農作物のブランド化について説明してください。

A 雲南市ではブランド化プロジェクトを進めており、雲南市そのものをブランドとして売り込み、農産物もブランド品を作り上げていく考えです。

Q 近い将来、農地環境を誰が守っていくのか不安視される状況で、農業後継者対策を望む声も高く魅力のある農業施策が望まれます。

A 若者が農村部に残ることがいちばん効果的な農業後継者対策と考えますので、定住施策について今後も重点的に取り組んでいきます。

商工業

Q 企業誘致の具体的振興策をお聞きします。

A 市内では既に12社が工場の増設や新設を行っており、さらに企業誘致に努力していきます。

観光

Q 雲南市への観光入れ込み客の状況はどうですか。また、映画「うん、何?」をどのように活用されますか。

A 雲南市への観光入り込み客数は、平成17年度で約67万人です。映画の上映を利用し、観光入り込み客の拡大を図り、さらにはIターン・Uターンを促進したいと考えています。

教育・文化

Q 学校等の適正規模適正配置検討委員会の状況についてお聞きします。

A 児童数の減少により、小学校については複式学級のところが出てきています。複式学級についてはメリット・デメリットがあります。こうした背景を踏まえ協議を行っています。今年11月には中間の答申、来年11月には答申していただくことになっています。検討状況等について情報公開しながら進めていきます。いずれにしても子どもにとってどうあるべきか、という視点を持ち、保護者や地域の方と話しをしていきたいと考えます。

Q 小中学校の統合について考えをお聞きします。

A 児童数も減少しており、今のままで良いのか、統合が必要なのかについては、保護者や地元の意見も聴きながら十分検討していく必要があります。幼稚園についても同様です。

Q 子どもたちがスポーツを通して学ぶこともたくさんあります。スポーツ少年団の活動の送迎にスクールバスを活用してはどうでしょうか。

A 子どもたちの育成にスポ少の果たす役割は大きいものがあります。スクールバスは基本的に通学用であり、スポーツ少年団の送迎への利用は難しい状況です。

Q 国際交流について英語圏ばかりではなく近場の中国や韓国と交流を深めるべきではないでしょうか。

A ますます東アジアの中でのつきあいが大事になってきますが、具体的には韓国との交流事業や中国との交流も行っています。今後も東アジア圏内の交流が活発になっていくことが予想されるので、ご指摘のとおり、交流を積極的に実施していきます。

環境・景観

Q ポイ捨て禁止条例について、ポイ捨てに罰金2万円とあります。罰則があれば皆に徹底してください。

A ポイ捨て条例もまずお願いをし、指導するといった形です。周知するかどうかですが、ポイ捨て条例、タバコの吸い殻を捨てる等、まず内容を説明します。罰則は悪質なものの最終手段です。

Q ゴミの不法投棄対策に防犯カメラ、看板等の設置、啓発活動等、行政として対処してください。

A ゴミの不法投棄は環境破壊につながります。雲南市においても後を絶たちません。現在は、地域の皆様と一緒に防止対策、撤去作業に取り組んでいるところです。監視カメラの設置については高額となるので、それも含めて今後の対策は地元の皆様と協議を行いながら対応を進めていきたいと思います。しかしながら、これといって効果的な対策が無いのが現状であり、廃棄物処理の指導やリサイクル活動などの啓発活動を推進し、不法投棄をさせない環境づくりを進めることが重要であると考えます。

健康・医療・福祉

Q 毎年、結核レントゲン健診を受けていましたが、今年は65歳以上が対象となったのはなぜですか。

A 近年、結核の発病は高齢者に限られるようになりました。よって、結核予防法も改正され結核レントゲン検診の対象が65才以上となりました。それに基づき雲南市も実施しています。

Q 雲南病院のことがよく新聞に出ているが、現状を教えてください。

A 医師不足が顕著です。研修医制度によって、特に地方は医師を確保しづらい状況にあります。雲南病院だけ努力しても解決しない問題で、今後も国や県への働きかけを行っていきます。同時に、直接大学病院の理解を得ることも必要で、今後は大学病院とより密接な関係を持つことが必要と考えています。

Q 雲南にスポーツ医学に詳しい人材を雇用してください。

A 市においては医師確保に努力していますが、スポーツ医学についても考慮します。研究所に医師を置いて診察することは困難ですが、スポーツ指導者に対して研修会等を行い、対応していきたいと思います。

Q 財政計画の今後の課題に「保健医療関係経費の抑制」があげられていますが、社会的弱者や次代を担う子どもたちのためにも、必要な施策は講じてください。